

4月11日(土)ハートフルファミリーの集いは バングラデシュがテーマです!

日時:2020年4月11日(土) 18:30~20:30

会場:専売ホール

東京都港区芝5丁目26番30号 専売ビル8F

JR 田町駅三田口 徒歩5分

地下鉄三田駅慶應大学口 徒歩4分



2019年ハートフルファミリーの集いの様子

最近の活動報告とご支援への感謝をお伝えし、こころのビタミン研究所を肌で感じていただけるよう、『ハートフルファミリーの集い』を今年も開催いたします。

今回は2021年に独立50周年を迎えるバングラデシュに焦点をあて、私たちのパートナーであるミトンさんのビジョンが誕生するきっかけや、成長著しい今日のバングラデシュについて、また今やバングラデシュの国のビジョンである『ビジョン2021』について、こころのビタミン研究所とミトンさんの関わりという観点からお伝えします。

皆様のご支援がどのようにバングラデシュでの活動に活かされてきたか、ぜひ会場でご確認ください。

こころのビタミン研究所 理事紹介

こころのビタミン研究所の活動は、20名の理事を中心に運営されています。2018年6月認定NPOとなったのを機に理事が増えましたので、ここでご紹介します。

●代表理事 栗原弘美 ●副代表理事 鷹野えみ子・中野隆一

●理事 栗原英彰、柁津都子、吉田真美、村田達義、吉永京子、湯田佐恵子、磯ヶ谷ふき子、磯田江利子、徳富隆子、中野京子、榎本泰基、鷹野治夫、吉野泰江、神山由美、鳥居ひとみ、五十嵐範子、高木真奈美

皆さまからお寄せいただいた心あるご支援を、友情や絆を通じて、これからも国内外で必要とされている方々へ届けてまいります。今後ともご支援よろしくお願い致します。

寄付金の税額控除が 受けられます

こころのビタミン研究所は、2018年6月から認定NPO法人として東京都から認定されています。こころのビタミン研究所への寄付金は、個人・法人とも税額控除の対象となります。

ご寄付の際、お名前・ご住所をご記入いただいた方には、毎年1月頃に寄附金受領証明書を郵送しています。こちらをご利用いただき、確定申告をすることで税金の控除を受けられます。

詳細はお住いの地域の税務署へお問い合わせください。

こころのビタミン研究所の活動にご支援をお願いいたします!

【振込先】 郵便局:ゆうちょ銀行 記号10100 番号77011271
銀行口座:三井住友銀行 三田通支店 普通7852939

【口座名(郵便局・銀行共)】 特定非営利活動法人こころのビタミン研究所



〒108-0073

東京都港区三田3-1-5 第一奈半利川ビル3F

TEL:03-5765-1956 FAX:03-5765-1961

E-mail:info@cocoro-v.org

URL:http://www.cocoro-v.org

ブログ:http://ameblo.jp/cocoro-v

Facebook:認定NPO法人こころのビタミン研究所

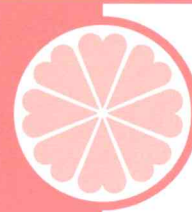
ビタミンニュース NO.26 2020年2月号

発行日/2020年2月20日 発行/認定NPO法人 こころのビタミン研究所



Vitamin News

ビタミンニュース NO.26 2020年2月号



COCORO NO VITAMIN
こころのビタミン
認定NPO法人 研究所

ハイチより心からのありがとう インターナショナルトレーニングにセンチル氏が来日

8月10日~8月17日にアジュール竹芝(東京都港区)で開催されたビジョン心理学インターナショナルトレーニングにセンチル・ラゲル氏(IAHイニシアティブ・アゲインスト・ハンガー 代表)を招きました。

セミナーの中でセンチル氏は支援への感謝を伝え、ハイチでの活動を紹介しました。

ハイチでは現在、政治的対立や政府審査官による援助資金の横領など、国や議会が正常に機能しているとは言い難い状況にあって、極端なインフレや食糧不足、燃料不足などに国民は困窮し、全国規模の暴動が昨年1年間に3度も発生しています。

このような状況の中でも、職業訓練校の屋根が7月に完成したことをセンチル氏は報告。まずは職業訓練校を完成させ、そこで訓練を受けた若者たちがハイチで自分の生活を確立し、それを持続可能にすることが次のビジョンだと語りました。

ハイチでは、一般的に病院の診察料の相場は3,000グールド(約3,300円)と高価で、貧しい人々は医療を受けられません。IAHの医療保健センターの診察料は25グールド(約27円)で、薬代はかかりません。マラリア検査や0~5歳の乳幼児の検査も無料です。昨年6月~10月には、保健省と共にしかやジフテリアなどの予防接種を行い、栄養失調の子どもたちに栄養を強化した食料を配布する等の活動も行っています。

セミナー後日にはセンチル氏と理事とのミーティングを行い、医療保健センターの運営や職業訓練校開校に向けての工程など、詳細な話し合いをしました。

また、セミナーでのチャリティーオークションの売り上げは340万円にものぼり、今回のご寄付は総額416万円と過去最高額になりました。厚く御礼申し上げます。



活動を紹介するセンチル(右)と通訳



チャリティーオークションの様子



理事とのミーティング

ハイチからのごあいさつ

2019年は、私が知りうるハイチの歴史の中で最悪の年でした。政治的混乱が国を深く引き裂きました。混乱の激しかった9月と10月、安全確保のため活動を休止せざるを得ない期間もありましたが、10月末から少しずつ再開し、11月からは通常の活動をしています。

ハイチがどんな状況にあっても、長年にわたって継続的に、全面的に経済面で支援して下さるこころのビタミンの皆さんに、ハイチの人々、特に私たちの活動の利益を受ける人々を代表して、心からの感謝と謝意をお伝えします。そして特に今年東京のセミナーでお会いした、すべての友人たちに心よりご挨拶申し上げます。

2020年が皆さまにとって良い年でありますように。またオリンピックの成功をお祈りしています。

IAH代表 センチル・ラゲル



診療を受ける子ども

自立を目指して協同組合病院設立 ～女性たちが会員となって資金を提供～

バングラデシュから



カリガンジの協同組合病院



ハンガーフリーワールドバングラデシュの皆さん
(上段左から4人目がミトン)



女性リーダーたちのミーティング

バングラデシュは、飢餓と貧困のない繁栄した国家になるため1971年に独立しました。そして今やGDP成長率8%を誇り、間もなく中所得国に入ると見込まれています。

2021年までにバングラデシュの飢餓を終わらせるという大きなビジョン「ビジョン2021」に触発され、バングラデシュは大きく発展しています。

そして今、2021年に栄光の祝典をする準備が整っていることを誇りをもってお知らせします！ 私たちは「ビジョン2021」の完全な実現と、幸せて繁栄した国の未来のため「持続可能な開発目標 (SDGs)」を実践することにコミットしています。

SDGsの「誰ひとり取り残さない」という精神の実現を本当に望むなら、人種や国や信仰の違いを超えてひとつになり、共に参加し、共に働く必要があります。平和で持続可能な飢えと貧困の無い世界を創るため、心の中にワンネスを感じる必要があります。

私は、栗原弘美先生と皆さんの近くで働けることを誇りに思っています。皆さん全員からの絶え間なき導きと力づけ、愛とパートナーシップで、私たちは様々な活動を継続出来ています。

カリガンジの多目的センターでは210名の子どもたちへの小学校教育と、コンピューターセンターで360名以上の農村部の若者 (男女) にトレーニングを提供しています。

カリガンジで400名、ボダで350名の女性たちへの支援も行っています。彼女たちはその地域で最も弱い立場にあり、私たちは今後も彼女たちを支援し続けたいと思っています。そのため「笑顔の女性賞」として彼女たち自身で小規模ビジネスをやっていくための資金を援助しています。現在130万タカ (約160万円) ある基金を1,000万タカ (約1,290万円) 以上に増やしたいと思っています。また、これら地域の100名の少女達に奨学金を提供しており、今後もこの人数を継続したいと思っています。

私たちは、寄付や補助金に頼り続けるのではなく組織として自立できるよう、ソーシャルビ

ジネスを行いたいと思っています。農村部のメンバーを含めて協同組合を組織しはじめています。カリガンジですでに設立している協同組合では、協同組合病院設立のため一人1,000タカ (約1,290円) を出資した539名の組合員 (ほとんどが女性) と、一人10,000タカ (約12,900円) 以上を寄付した40名の会員がいます。私たちはより多くのメンバーとドナーを増やす努力をしています。

ボダでも、協同組合を開始し、牛の飼育プロジェクトを行っています。村人のために牛乳を確保すること、そしてミルクは栄養価が高いので地元の子供たちの学校給食に提供することも目指しています。

私たちのアプローチは非常にシンプルです。最初にビジョンとパートナーシップを構築し、次に一緒に計画を立て、実行します。私たちは①ビジョン②パートナーシップ③投資④協同組合⑤持続可能性にフォーカスしています。私たちの取り組みの主役は女性です。私たちは女性を力づけ、パートナーシップをもって働きます。

私たちの精神は、偉大な教師である栗原弘美先生と栗原英彰先生から学んでいるワンネスの精神です。私たちは皆さんとのパートナーシップに恵まれています。皆さんの行動の結果、愛と支援がもたらした違いを目撃するためにぜひバングラデシュにいらしてください！ ありがとうございます。心から感謝しています。

HFWバングラデシュ事務局長 アタウル・ラーマン・ミトン



小学校のアートコンクール (カリガンジ)



HFWバングラデシュ主催の村のお祭りで
食品を販売する女性たち (カリガンジ)

被災者支援事業を行っています

昨年は国内でも台風や大雨による被害が多数発生しました。被害を受けられた方々が一日も早く穏やかな毎日を取り戻されるようお祈りしています。

2011年より、国内の自然災害で被災された方々などに対し、心の癒しを目的とするビジョン心理学セミナーに半額または無料などでご参加いただける被災者支援プログラムを実施しています。セミナー後のカウンセリングも3回まで無料で受けられます。

これまでにこのプログラムを約340名の方が利用しています。参加した方からは「仕方がない、いまさら…と、考えないようにしていた蓋が開いて、苦しくなるどころかやる気になっている、不思議なエネルギーが自分の中から生まれてきた感じがします」などご感想を頂いています。

詳細はこころのビタミン研究所のホームページをご覧ください。事務局までお問合せください。お知り合いにもぜひご紹介ください。



昨年10月に仙台で開催されたセミナーの様子

今後の開催日程

仙台

日時: 2020年3月29日(日) 10時～18時

会場: ベルエア会館

宮城県仙台市青葉区一番町1-4-8

JR仙台駅西口中央出口 徒歩12分

※2日間以上のセミナーにご参加の際は
料金が異なります。

ESP学園の学園祭に出展しました



学生向けの相談室を受け持っている都内の専門学校「学校法人イーエスピー学園 専門学校ESPエンタテインメント東京」で昨年11月3日、4日学園祭が開催され、こころのビタミン研究所から相談員として6名がこころの相談を受け付けました。

「カードの館」として1人20分程度のカードリーディングを実施し、2日間で50名以上が来場。在校生やその友人、学校見学に来た高校生や在校生のご両親などは「やるべきことが分かり目標ができた」「自分や周りの人を信じていこうと思う」などと話していました。

相談室の利用者数は少しずつ増加しています。高校を卒業して初めて一人暮らしを始めた学生や、最近では海外からの留学生も利用しています。卒業後は社会に出ていく学生たちが、学校生活を楽しみ、自信をもって未来を拓けるよう、これからも応援してまいります。

渋谷papamamaマルシェに出展しました

昨年度に引き続き、渋谷区で子育てをする0～3歳児を持つ親子などを対象にしたイベント「渋谷papamamaマルシェ」に昨年11月24日出展しました。

こころのビタミン研究所のブースでは、日々子育てや仕事をがんばっている大人向けの相談支援を実施。カードリーディング形式でお話を伺いました。

0歳児と自分だけで過ごす長い時間に息がつかない、仕事で異動するタイミングに子育てと働き方を考え直したい、妻をどうサポートしたらいいかと、相談内容は様々です。子育てをしながら自分のことや夫婦のことなどに向き合う皆さんに寄り添い、こころのビタミンとして出来る活動を行っていきたいと思っています。



参加したメンバー